遺伝子検資 選用セミラ

近年、遺伝子解析技術の進歩に伴い、栄養と遺伝子の関係、個人の体質と病気へのリスクなどに新たな展開がなされています。個人を対象 とした遺伝子検査は、期待されている反面、検査結果をどう解釈し、どう生かすか、注意すべきポイントは少なくありません。初級DNA アドバイザー認定資格取得要件も兼ねた本セミナーでは、この分野の第一線でご活躍の先生方をお招きして、その実例や課題、また未来も 含めてお話いただきます。この機会にぜひご参加ください。

遺伝子検査活用セミナー開会挨拶 田村弘志

DNA アドバイザー協会会長、LPS コンサルティング事務所 代表(博士(学術))



腸内環境/免疫システムと健康長寿の関わり

十文字学園女子大学 人間生活学部 食品開発学科 教授(博士(農学))

Session

遺伝子データ活用と社会実装 田野降徳

株式会社リコー 博士研究員(博士(理学))

Session

これからのDTC遺伝子検査に向けたゲノムリテラシーの醸成 大藤道衛

日本DNA アドバイザー協会理事、東京テクニカルカレッジ講師(博士(医学))

Session

資格認定と運用、および最近の話題(DNA親子鑑定と個体識別)

日本DNA アドバイザー協会理事・ファウンダー、㈱プロップジーン代表取締役 (博士(工学))

Session

ヒトゲノム情報の活用と理解:健診アプリへの応用を例に

村松正明

日本DNA アドバイザー協会特別上級顧問、東京医科歯科大学名誉教授 (博士(医学))

212/21 18:00 to 120:50

主催: 日本DNA アドバイザー協会 (DAAJ)

共催:専門学校東京テクニカルカレッジ (TTC) 協賛:特定非営利活動法人 日本バイオ技術教育学会

DAAJ DNA advisor association of Japan

